

報告第 13 号

公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について

別紙のとおり報告する。

令和8年 8月27日 提出

太宰府市長 高 原 清

理 由

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により
議会に報告する。

令和 7 年度

事業報告書

決 算 書

目 次

	ページ
令和 7 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会事業報告書	1～11
令和 7 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会決算書	12～21
令和 7 年度 事業年度の業務及び財産の状況等監査報告書	22

令和 7 年度 事業報告書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

事業報告書

本協会は、古代からアジアに開かれ、歴史、文化等が連綿と今日まで続いてきた太宰府ならではの地域性に鑑み、未来志向の国際交流を促進する活動を行うことにより、市民一人ひとりが個性、多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現を目指し、地域の発展と国際平和に貢献することを目的に、令和 7 年度は次の三つの事業を実施した。

- ア 国際交流促進事業・・・7事業
- イ 外国人学生支援事業・・・2事業
- ウ 在住外国人支援事業・・・2事業

ア 国際交流促進事業

1. フレンズベル倶楽部メンバーのつどい

前年度事業報告、今後の活動方針の報告を行う総会及び、当協会の賛助会員および留学生、在住外国人との交流の場として開催。事業報告後は、ロエ理事のギター演奏と奥様による歌の披露や在住外国人のアイリーンさんがアイルランド国技「ハーリング」について、姜理事は、韓国の「じゃんけん」についてお話をいただきました。また、文化紹介ボランティアに登録していただいている堺さんにより三味線の演奏があり日本文化にも触れていただきました。また、「太宰府いきいき子ども食堂」に料理を作ってもらい、会員間および市内在住外国人、留学生との交流を図りました。最後に、お楽しみ抽選会を行い、会場は終始にぎやかな声であふれていました。

開催日：令和 7 年 6 月 22 日（日）

時 間：12 時 30 分～15 時 00 分

場 所：いきいき情報センター205～207 号室

参加者：87 名

（内訳）日本 65 名、ネパール 2 名、台湾 1 名、ウクライナ 1 名、フィリピン 2 名、ポルトガル 1 名、カナダ 1 名、フランス 1 名、ミャンマー 1 名、韓国 5 名、アイルランド 2 名、中国 3 名、ソロモン諸島 1 名、オーストラリア 1 名

2. 太宰府市民政庁まつり出展

太宰府市民政庁まつりに、協会 PR のために出展し、協会リーフレットの配布や、地球をプリントされたスーパーボールすくい、募金活動を実施。また、国際理解を深めるため、国旗当てクイズコーナー等を設置し、市民との交流の場を設けた。集まった募金は、ベシヤワール会へ寄付（14,598 円）。

開催日：令和 7 年 10 月 4 日（土）

時 間：10 時 00 分～13 時 00 分（午後は雨天のため中止）

場 所：太宰府政庁跡

3. 世界文化体験講座

「チェトリさんと作るネパールカレー」

日本経済大学の留学生チェトリ ヴェディクシャさんとアシスタントに日本経済大学国際交流センター職員スレスタ パルビンさんを講師に迎え、ネパール料理（ネパールカレー、モモ（水餃子）、ラッシー）の調理実習を実施しました。韓国人留学生や地域住民も多数参加し、食を通じた多文化共生と相互理解を深める機会となりました。

開催日：令和7年9月27日（土）

時 間：10時00分～14時00分

場 所：いきいき情報センター 調理室

講 師 チェトリ ヴェディクシャ先生（日本経済大学グローバルビジネス科留学生）
スレスタ パルビン先生（日本経済大学国際交流センター職員）

参加者：41名

（内訳）日本37名、ネパール2名、韓国2名

4. 国際理解講座

「インドネシアの文化を通して、多文化共生について考えてみよう！」

多様な民族・言語・宗教が共存する国である「インドネシア」の文化、言語や音楽を通して多文化について講話いただいた。

開催日：令和7年8月24日（日）

時 間：10時00分～13時00分

場 所：地域活性化複合施設太宰府館まほろばホール

講 師 石橋ヘルミンダワティ恵美先生（筑紫女学園大学非常勤講師）

参加者：49名

（内訳）日本46名、台湾1名、中国1名、韓国1名

5. 広報啓発事業

（1）パンフレット、資料収集・提供

- ・協会事務局窓口や太宰府市いきいき情報センター、太宰府館等の公共施設に国際交流関連の刊行物や資料を配架し、協会のPR、国際交流の啓発を図った。
- ・いきいき情報センター2階フロアー、太宰府市庁舎1階市民ギャラリーにて協会事業報告パネル展を開催した。
- ・現在加入している福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）ほか各種国際交流関連団体や近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行った。
- ・より多くの市民にまずは事務局の存在に関心を持ってもらえるよう、協会事務局窓口で多言語や国際交流に関するフリーペーパーを集めるなど配架内容の充実を図っている。
- ・近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行った。
- ・日本経済大学の留学生に対し、太宰府市の国際交流について講話を行った。

＜他団体連携参画会議一覧＞

	開催日	参加会議等	場 所	主 催
1	令和7年4月5日 （土）	留学生を囲む「観桜会」	竈門神社境内	太宰府天満宮崇敬会 国際奉仕婦人部
2	令和7年10月22日 （水）	日本語教室コーディネーター等意見交換会	WEB会議	福岡県企画・地域振興部国際局国際政策課
3	令和7年10月27日 （月）	市町村国際交流団体会議	FUKUOKAISOPEN センター	公益財団法人福岡県国際交流センター
4	令和7年11月18日 （火）	日本経済大学留学生に対し太宰府市の国際交流について講話	日本経済大学	太宰府市国際交流協会、日本経済大学
5	令和7年12月20日 （土）	日本語教室ボランティア研修	小郡市生涯学習センター	公益財団法人福岡県国際交流センター
6	令和8年1月13日 （火）	多文化共生の担い手連携促進研修会（現地研修）	佐賀県庁	一般社団法人自治体国際化協会
7	令和8年1月15日 （木）	福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET） 福岡国際関係団体連絡会紹介パネル展 （1月15日～1月21日）	福岡市役所本庁舎	福岡国際関係団体連絡会
8	令和8年2月22日 （日）	第29回人権まつりだざいふ2026	プラム・カルコア太宰府	人権まつりだざいふ2026実行委員会
9	令和8年2月22日 （日）	2025年度「国際交流パーティ」	大野城まどかびあ	大野城市国際交流協会

（2）機関紙の発行

- ・賛助会員会報「フレンズベルNEWS」を12回発行した。

（3）ホームページ情報発信

- ・本協会のホームページにて、協会の事業や活動を広くアピールしていくための情報発信を行っている。

○ホームページアドレス；<http://www.dcica.or.jp/>

○Twitter アカウント；（公財）太宰府市国際交流協会（DCIEA）@DazaifuCIEA

6. 国際理解教育支援事業

令和7年度は外部団体による派遣要請はなかった。

7. 国際交流団体への活動助成

＜計1団体＞

- ・太宰府西小学校「姉妹校交流」

申請者：太宰府市立太宰府西小学校 P T A

申請日：令和7年8月28日（交付決定日9月12日）

開催日：「姉妹校交流」令和7年9月24日（水）～26日（金）

場 所：太宰府市立太宰府西小学校

8. ホストファミリー事業

近年はアジア太平洋子ども会議からの受け入れ要請があっていないので現在は休止状態である。そのため受け入れ態勢やシステムも休止している。

9. 市内並びに近隣の国際交流団体が行う交流事業への共催、後援等の実施

- ① BRIDGE KIDS PROGRAMS 2025（ブリッジキッズプログラムズ2025）

申請日：令和7年6月9日

開催日：令和7年4月1日～令和8年3月31日

主 催：NPO 法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡

- ② 第44回太宰府少年の船

申請日：令和7年3月7日（後援決定日3月17日）

開催日：令和7年8月8日～令和7年8月12日

主 催：太宰府少年の船協会

- ③ 第3回だざいふ物語り ステージ等への協力

開催日：令和7年11月15日（土）

時 間：10時00分～16時00分

場 所：特別史跡大宰府跡「客館跡」史跡広場

ステージ：日本経済大学の留学生によるファッションショー

参加者：10名

主 催：筑紫女学園大学第3回だざいふ物語り実行委員会

イ 外国人学生支援事業

1. 留学生フォーラム

「留学生が日本で就職し安心して暮らすことができるために必要なこと」をテーマに留学生フォーラムを開催する。

今回は、日本での生活やこれからのキャリア形成について、留学生の不安をなくし、希望いっぱいの未来を築くための第一歩となるため、「賃貸住宅入居の手引きや住宅のトラ

ブル解消について」、「就職のための在留資格や入管手続きについて」、「日本で生活するために払うお金について」を関係団体から講話いただいた。

開催日：令和8年2月7日（土）

時 間：10時00分～13時35分

場 所：太宰府市商工会館2階大会議室

参加者：50名

（内訳）韓国9名、ネパール4名、中国6名、ウクライナ1名、ミャンマー3名、ベトナム1名、フィンランド1名、インド1名、オーストラリア1名、日本23名

2. 日本文化体験講座

熊本城や水前寺公園など、熊本市を代表する歴史・文化資源を実際に訪れることで、日本の歴史・伝統・自然観を体験的に学ぶこととした。教室での学びでは得られない「五感で感じる文化体験」を通して、日本人の価値観や生活文化の背景を理解する機会とした。

開催日：令和7年12月6日（土）

時 間：8時30分～17時00分

場 所：熊本県熊本市

参加者：36名

（内訳）ウクライナ1名、フランス1名、ブラジル1名、モンゴル1名、台湾1名、オーストラリア1名、バングラデシュ2名、韓国5名、中国6名、ベトナム5名、ネパール6名、日本6名

ウ 在住外国人支援事業

1. 日本語教室支援

太宰府日本語教室ことだまの会に委託し、在住外国人を対象に日本語の習熟ならびに日本文化や生活習慣を学ぶ場として「太宰府にほんご教室」を毎週月曜日に太宰府市いきいき情報センターにて実施した。

委 託 先：太宰府日本語教室ことだまの会

回 数：年間40回

曜日日時：毎週月曜日10時00分～12時10分

場 所：太宰府市いきいき情報センター2階209会議室

学 習 者：年間延べ人数 403名

出 身 国：15カ国

（中国、韓国、ウクライナ、フィジー、スリランカ、ノルウェー、ウズベキスタン、アメリカ、モロッコ、コロンビア、アフガニスタン、ベトナム、フィリピン、ナイジェリア、イギリス）

スタッフ：9名

- ① 太宰府日本語教室ことだまの会日本文化体験(バスハイク)引率
太宰府日本語教室ことだまの会主催による日本文化体験として佐賀県唐津市の唐津城、鏡山展望台、曳山展示場などを見学した。

日 時：令和7年10月27日(月)
時 間：9時00分～15時00分
場 所：佐賀県唐津市
参加者：27名(スタッフ10名、学習者17名)

- ② 日本文化体験「太宰府天満宮参拝と梅ヶ枝餅焼き体験」引率
太宰府にほんご教室ことだまの会主催で、学習者のために伝統文化を学ぶ体験プログラムが実施されました。まず、太宰府館2階体験工房において、梅ヶ枝餅作り体験をしました。昼食をとったのち、梅の花を眺めながら太宰府天満宮に参拝しました。
日 時：令和8年2月16日(月)
時 間：10時00分～14時00分
場 所：太宰府市(太宰府館、太宰府天満宮)
参加者：21名(スタッフ10名、学習者21名)

2. 生活情報ガイドブック

本協会と太宰府市が共同で作成している「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック(日本語版、英語版、中国語版、韓国語版、ベトナム語版、やさしい日本語版)を、市役所や当協会、留学生が在籍する市内3大学(筑紫女学園大・日本経済大・九州情報大)に配架している。

3. その他

- ① 在住外国人等の支援のために太宰府市から本協会に依頼があった通訳・翻訳(一部は本協会のボランティア登録者に依頼)は1件であった。

《生活情報等に関する通訳・翻訳の受託》

	時 期	依頼者	内 容
1	令和7年5月	市民課	戸籍謄本英訳証明書の確認

- ② 地域の国際交流事業支援
太宰府市国際交流協会では、日本人と外国人が共存し、誰もが安心して暮らせる「多文化共生社会」の実現を目指し、外国人との交流を進める地域の取り組みを支援(講師の紹介など)している。
講 師：在住外国人アイルランド出身 アイリーン氏

内 容：日本とアイルランドのつながりなどの講話
(アイルランドの音楽や食などの文化を通じて)

依頼者：高雄台区 梅寿会(代表 大東洋一郎)
開催日：令和7年7月6日(日)
場 所：高雄台公民館
参加者：22名

- ③ 民族衣装の貸し出し
・株式会社ペンシル
(令和7年11月6日(木)～11月11日(火))
(国名：中国・インド・ネパール・ブータン)
・福岡市立今津特別支援学校
(令和8年1月17日(土)～1月31日(土))
(国名：中国・ドイツ・インド)

- ④ 外国籍児童生徒へのサポート
対象者：太宰府小学校2年生、太宰府中学校1年生(姉妹)＜中国籍＞
概 要：令和7年8月下旬、市内学校に中国籍の児童生徒が転入。当該児童らは、使用言語が中国語のみであり、学校生活において意思疎通が困難な状況にあった。これを受け、教育委員会より太宰府市国際交流協会に対し、言語サポートが可能なボランティア派遣の相談が寄せられた。
対 応：太宰府市国際交流協会での語学ボランティア登録者(中国語が対応)は平日の活動が困難な状況にあった。この課題を解決するため、市内の大学へ学生ボランティア(特に留学生)によるサポートの可否を打診したところ、太宰府小学校に、筑紫女学園大学の留学生3名(10月～1月)、太宰府中学校に、筑紫女学園大学の日本人学生(10月～12月)1名から協力の申し出をいただくことができた。また、2月より太宰府市日本語教室ことだまの会からの協力を受け、体制の強化を図っている。今後、在住外国人のさらなる増加が予測される中、安定的かつ継続的な支援体制の構築が急務となっている。次年度に向けては、教育委員会を中心に、関係諸団体との緊密な連携体制を確立し、地域全体で多文化共生を推進するサポート基盤の構築を目指している。

令和7年度公益財団法人太宰府市国際交流協会会議開催状況

○評議員会

第1回評議員会

令和7年 6月18日（水）14：00～15：00 太宰府市役所3階

第2回評議員会

令和8年 3月27日（金）10：00～10：48 太宰府市役所3階

○理事会

第1回理事会

令和7年 5月22日（木）18：30～19：34 いきいき情報センター2階

第2回理事会（みなし決議）

令和7年 5月30日（金）

第3回理事会

令和7年 6月18日（水）18：30～19：40 いきいき情報センター2階

第4回理事会

令和7年10月21日（火）18：30～19：32 いきいき情報センター2階

第5回理事会

令和8年 2月24日（火）18：30～19：05 いきいき情報センター2階

○監査

令和7年 5月17日（土）10：00～12：00 いきいき情報センター2階
国際交流協会事務室

○運営委員会

第1回運営委員会

令和7年 5月22日（木）18：47～20：20 いきいき情報センター2階

第2回運営委員会

令和7年 6月18日（水）18：30～19：32 いきいき情報センター2階

第3回運営委員会

令和7年 7月10日（木）18：30～20：17 いきいき情報センター2階

第4回運営委員会

令和7年 9月 2日（火）18：35～20：00 いきいき情報センター2階

第5回運営委員会

令和7年10月21日（火）19：40～20：47 いきいき情報センター2階

第6回運営委員会

令和7年11月21日（金）18：35～20：40 いきいき情報センター2階

第7回運営委員会

令和7年12月23日（火）18：30～19：46 いきいき情報センター2階

第8回運営委員会

令和8年 1月23日（金）18：34～19：18 いきいき情報センター2階

第9回運営委員会

令和8年 2月24日（火）19：17～19：51 いきいき情報センター2階

事業報告の附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。

令和7年度

決算書

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,200,224	1,045,627	154,597
貯蔵品	9,832	10,402	△ 570
前払費用	31,408	21,408	10,000
流動資産合計	1,241,464	1,077,437	164,027
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	95,836	179,919	△ 84,083
その他固定資産合計	95,836	179,919	△ 84,083
固定資産合計	10,095,836	10,179,919	△ 84,083
資産合計	11,337,300	11,257,356	79,944
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	129,680	108,403	21,277
前受金	5,000	14,000	△ 9,000
預り金	36,764	49,973	△ 13,209
流動負債合計	171,444	172,376	△ 932
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	171,444	172,376	△ 932
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,165,856	1,084,980	80,876
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	11,165,856	11,084,980	80,876
負債及び正味財産合計	11,337,300	11,257,356	79,944

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	27,500	200	27,300
受取会費			
一般会員受取会費	493,000	449,000	44,000
事業収益			
国際交流促進事業収入	62,800	104,500	△ 41,700
外国人学生支援事業収入	25,000	19,000	6,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	5,500,000	5,500,000	0
受取寄付金			
受取寄付金		0	0
雑収益			
受取利息	2,387	836	1,551
経常収益計	6,110,687	6,073,536	37,151
(2) 経常費用			
事業費			
賃金	1,150,676	1,162,645	△ 11,969
賞与	88,800	88,425	375
福利厚生費	200,755	186,673	14,082
旅費交通費	107,700	71,600	36,100
通信運搬費	226,990	208,779	18,211
減価償却費	42,041	50,562	△ 8,521
消耗品費	421,500	423,912	△ 2,412
印刷製本費	41,426	178,622	△ 137,196
賃借料	307,643	277,608	30,035
会場使用料	16,610	12,410	4,200
交際費	0	0	0
保険料	26,300	31,300	△ 5,000
諸謝金	99,297	79,000	20,297
支払負担金	4,000	4,000	0
支払助成金	35,800	0	35,800
委託費	350,000	520,000	△ 170,000
研修費	30,000	0	30,000
雑費	73,460	89,999	△ 16,539
事業費計	3,222,998	3,385,535	△ 162,537

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
賃金	1,150,679	1,143,146	7,533
賞与	88,800	88,425	375
福利厚生費	200,751	192,966	7,785
旅費交通費	153,160	157,010	△ 3,850
通信運搬費	88,161	107,321	△ 19,160
減価償却費	42,042	50,563	△ 8,521
消耗品費	47,293	153,970	△ 106,677
印刷製本費	0	6,023	△ 6,023
賃借料	305,174	277,614	27,560
会場使用料	8,210	7,380	830
交際費	10,000	10,000	0
租税公課	0	0	0
委託費	660,000	528,000	132,000
研修費	16,500	0	16,500
雑費	36,043	35,049	994
管理費計	2,806,813	2,757,467	49,346
経常費用計	6,029,811	6,143,002	△ 113,191
当期経常増減額	80,876	△ 69,466	150,342
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	80,876	△ 69,466	150,342
当期一般正味財産増減額	80,876	△ 69,466	150,342
一般正味財産期首残高	1,084,980	1,154,446	△ 69,466
一般正味財産期末残高	1,165,856	1,084,980	80,876
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	27,500	200	27,300
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 27,500	△ 200	△ 27,300
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	11,165,856	11,084,980	80,876

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・・・・・・定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
—	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	0	0
小 計	10,000,000	(10,000,000)	0	0
特定資産				
—	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	10,000,000	(10,000,000)	0	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	807,877	712,041	95,836

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表計上の記載区分
補助金						
運営費補助金	太宰府市	0	5,500,000	5,500,000	0	
合 計						

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	27,500
小 計	27,500
合 計	27,500

令和7年度

附属明細書

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
その他固定資産	什器備品	179,919	0	84,083	95,836
	その他固定資産計	179,919	0	84,083	95,836

令和7年度

財産目録

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

令和 8年 3月 31日 現在				
(単位：円)				
貸 借 対 照 表 科 目		場 所・物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	小口現金として	9,146
	普通預金	西日本シティ銀行 五条支店	運転資金として	831,855
	普通預金	ゆうちょ銀行郵便振替口座	賛助会費用口座として	359,223
	貯藏品	切手	通信運搬費として	9,832
	前払費用	東京海上日動火災保険㈱	令和8年度傷害保険	30,000
	前払費用	㈱トップ	インターネット使用料4月分	1,408
流動資産合計				1,241,464
(固定資産)				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行 五条支店	基本財産として保有	10,000,000
その他固定資産	什器備品	ノートパソコン1台、 デスクトップパソコン3台	業務に使用している	95,836
固定資産合計				10,095,836
資産合計				11,337,300
(流動負債)				
	未払金	東京海上日動火災保険㈱	レクレーション包括保険	6,300
	未払金	㈱アスクル	事務用品代	19,008
	未払金	富士フイルムイメージソリューション㈱	コピー機使用料	31,201
	未払金	NTTコミュニケーションズ㈱	メール&ウェブ使用料	3,520
	未払金	㈱トップ	固定電話料金	6,946
	未払金	NTT西日本	キャリアライセンスプラス利用料	1,672
	未払金	ソフトバンク㈱	携帯電話使用料	25,279
	未払金	KDDI㈱	携帯電話使用料	8,079
	未払金	南福岡社会保険事務所	社会保険料	27,675
	前受金	前受金	令和8年度賛助会費として	5,000
	預り金	職員	社会保険料預り金	27,027
	預り金	職員	源泉所得税預り金	3,037
	預り金	職員	市町村民税税預り金	6,700
流動負債合計				171,444
固定負債合計				0
負債合計				171,444
止味財産				11,165,856

正味財産増減計算書内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

令和8年5月15日

令和8年 3月 31日 現在		(単位:円)	
科 目	公益目的事業会計 国際交流事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	27,500		27,500
受取会費			
一般会員受取会費	329,000	164,000	493,000
事業収益			
国際交流促進事業収入	62,800		62,800
外国人学生支援事業収入	25,000		25,000
受取補助金			
受取地方公共団体補助金	2,750,000	2,750,000	5,500,000
受取寄付金			
受取寄付金	0		0
雑収益			
受取利息	2,387		2,387
	3,196,687	2,914,000	6,110,687
事業費			
賃金	1,150,676		1,150,676
賞与	88,800		88,800
福利厚生費	200,755		200,755
旅費交通費	107,700		107,700
通信運搬費	226,990		226,990
減価償却費	42,041		42,041
消耗品費	421,500		421,500
印刷製本費	41,426		41,426
賃借料	307,643		307,643
会場使用料	16,610		16,610
交際費	0		0
保険料	26,300		26,300
諸謝金	99,297		99,297
支払負担金	4,000		4,000
支払助成金	35,800		35,800
委託費	350,000		350,000
研修費	30,000		30,000
雑費	73,460		73,460
事業費計	3,222,998		3,222,998
管理費			
賃金		1,150,679	1,150,679
賞与		88,800	88,800
福利厚生費		200,751	200,751
旅費交通費		153,160	153,160
通信運搬費		88,161	88,161
減価償却費		42,042	42,042
消耗品費		47,293	47,293
印刷製本費		0	0
賃借料		305,174	305,174
会場使用料		8,210	8,210
交際費		10,000	10,000
租税公課		0	0
委託費		660,000	660,000
研修費		16,500	16,500
雑費		36,043	36,043
管理費計		2,806,813	2,806,813
経常費用計	3,222,998	2,806,813	6,029,811
当期経常増減額	△ 26,311	107,187	80,876
2 経常外損益の部			
① 経常外収益			
経常外収益計			0
② 経常外費用			
経常外費用計			0
当期一般正味財産増減額			80,876
一般正味財産期首残高			1,084,980
一般正味財産期末残高			1,165,856
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取額	27,500		27,500
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 27,500		△ 27,500
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			10,000,000
指定正味財産期末残高			10,000,000
III 正味財産期末残高			11,165,856

公益財団法人太宰府市国際交流協会

理事長 石 其琳 様

公益財団法人太宰府市国際交流協会

監事 宮原 勝美 様

監事 大坪 啓子 様

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の業務及び財産の状況等を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。

目 次

令和 8 年度

事業計画書

収支予算書

	ページ
令和 8 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会事業計画書	1～4
令和 8 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会収支予算書	5～10

令和 8 年度 事業計画書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

令和 8 年度

公益財団法人太宰府市国際交流協会事業計画書

1 基本方針

本協会は、平成 4 年の設立以来、市民一人ひとりが個性、多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に向け、地域の発展と国際平和への貢献を目的としており、古代からアジアに開かれ、歴史、文化等が連綿と今日まで続いてきた太宰府ならではの地域性に鑑み、未来志向の国際交流を促進する活動を行っている。

活動内容としては、本協会が本市の国際交流の中核的組織であることから、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、「市民の国際交流を促進する事業」、「外国人学生を支援する事業」、「在住外国人を支援する事業」の 3 つの分野における事業を展開しているところである。

昨今、世界中で政治、経済、民族、宗教や文化等異なる価値観による社会のひずみが広がっている。このような中、国際交流協会は、地域社会における国際化の推進、異文化理解の促進、そして在住外国人支援の拠点として重要な役割を担い、近年の社会情勢の変化に伴い、「交流」から「多文化共生・支え合い」へと大きくシフトすることが求められている。

令和 8 年度は、国籍や文化の異なる人々が互いに認め合い、対等な関係を築く多文化共生社会の更なる実現に向け、ライフステージに応じた「継ぎ目」のない支援や社会参画の促進、そして情報発信と相談体制の更なる構築など、地域コミュニティの基盤としての役割を強めていくための事業も今後進めていく。

2 公益目的事業

ア 国際交流促進事業

1. フレンズベル倶楽部メンバーのつどい

年間事業報告や今後の活動方針などの報告を行い、賛助会員、一般参加者、留学生、在住外国人の交流の促進を目的として開催する。

2. 太宰府市民政庁まつり出展

太宰府市民政庁まつりにおいて、来場者を対象に国際交流の普及啓発を目的として、協会の活動や外国文化等を紹介するスペースを設け、市民の国際化に対する関心を高めるとともに、留学生や在住外国人との交流の場とする。また、戦災や飢餓あるいは突然の災害により被災し、悲惨な

状況にある国や地域の復興の一助として、会場で紹介するとともに募金活動を行い、地域貢献を図る。

3. 世界文化体験講座

外国人講師もしくは、外国の言語や文化に精通した講師による外国の言語や文化の紹介を行い、外国への興味相互理解を図るために体験型の交流を通じた講座を開催する。

4. 国際理解講座

賛助会員や日本人市民を対象に、外国の文化、価値観を理解してもらうことを目的とした講演会や外国人と日本人市民との交流を交えた講座や国際交流サロン等を開催する。

5. 広報啓発事業

(1) パンフレット、資料収集・提供

- ・協会事務局窓口や太宰府市庁舎等の公共施設に国際交流関連の刊行物や資料を配架し、協会のPR、国際交流の啓発を図る。
- ・太宰府市いきいき情報センターおよび太宰府市庁舎1階市民ギャラリーにて協会事業報告パネル展を開催する。
- ・各種国際交流関係団体や近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行う。

(2) 機関紙の発行

- ・賛助会員会報「フレンズベルNEWS」を発行し、協会活動の周知を図る。

(3) ホームページ情報発信

- ・本協会のホームページにて協会の事業や活動を広くPRするための情報発信を行う。ホームページアドレス：<http://www.dciea.or.jp>

6. 国際理解教育支援事業

市内の小中学校等で行われる国際理解教育等のボランティア講師（ゲストティーチャー）として、小中学校等の要請により、外国人および留学生を派遣し、子どもたちの国際化への関心を高め国際理解の促進を図る。

7. 国際交流団体への活動助成

市内で活動している団体等が、自主的に企画・立案・実施する国際交流事業に対して助成を行い、市民レベルの国際交流の推進を図る。助成金は別に定める補助対象経費の2分の1以内、限度額5万円とし、助成事業の積極的な広報を行う。

8. ホストファミリー事業

国際交流団体等からの要請により、日本の家庭（ホストファミリー）にホームステイ（宿泊）、ホームビジット（日帰り）の斡旋を行い、外国人と日本人との交流の促進を図る事業として実施する。

9. 市内並びに近隣の国際交流団体が行う交流事業への共催、後援

市内で活動する団体が、自主的に実施する国際交流事業に対し共催、後援を行い、国際交流及び国際理解の促進を図る。

イ 外国人学生支援事業

1. 留学生フォーラム

外国人留学生が抱える問題を把握し、解決していくために、相談会および支援内容に沿った講座を開催する。

2. 日本文化体験講座

市民と外国人留学生との相互理解を図るために、日本でしか体験できない文化・スポーツ・料理・歴史（史跡）散策・体験施設訪問等、体験型の講座を開催する。

ウ 在住外国人支援事業

1. 日本語教室支援

在住外国人を対象に、日本語の習熟ならびに日本文化や生活習慣を学ぶ場として太宰府にほんご教室「ことだまの会」に委託し、日本語教室を太宰府市と共催で毎週月曜日に太宰府市いきいき情報センターにて実施する。

2. 生活情報ガイドブック

在住外国人の太宰府市における生活の利便性向上のために、太宰府市と共同で作成している「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック」の情報について、必要に応じて情報収集および更新を行う。

令和8年度

収支予算書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

収支予算書(正味財産増減予算書)

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
② 特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
③ 受取会費	480,000	420,000	60,000
一般会員受取会費	480,000	420,000	60,000
④ 事業収益	40,000	40,000	0
国際交流事業収入	30,000	30,000	0
外国人学生支援事業収入	10,000	10,000	0
在住外国人支援事業収入	0	0	0
⑤ 受取補助金等	5,600,000	5,500,000	100,000
地方公共団体補助金	5,600,000	5,500,000	100,000
民間団体助成金	0	0	0
⑥ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑦ 雑収益	2,000	2,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	1,000	1,000	0
⑧ その他の収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
経常収益計	6,123,000	5,963,000	160,000
(2) 経常費用			
① 事業費	3,543,000	3,434,000	109,000
賃金	1,213,000	1,213,000	0
福利厚生費	198,000	198,000	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	145,000	145,000	0
通信運搬費	241,000	241,000	0
消耗品費	470,000	460,000	10,000
消耗什器備品費	0	0	0
印刷製本費	125,000	125,000	0
会場使用料	74,000	84,000	△ 10,000
交際費	30,000	20,000	10,000
賃借料	221,000	221,000	0
保険料	25,000	25,000	0
諸謝金	205,000	205,000	0
支払負担金	4,000	4,000	0
助成金	50,000	50,000	0
委託費	480,000	350,000	130,000
研修費	20,000	50,000	△ 30,000
修繕費	0	0	0
雑費	17,000	17,000	0
減価償却費	25,000	26,000	△ 1,000

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	2,880,000	2,855,000	25,000
役員報酬	0	0	0
賃金	1,213,000	1,213,000	0
福利厚生費	208,000	208,000	0
会議費	15,000	15,000	0
旅費交通費	220,000	220,000	0
通信運搬費	90,000	90,000	0
消耗什器備品費	30,000	30,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
会場使用料	15,000	15,000	0
交際費	20,000	20,000	0
賃借料	183,000	183,000	0
委託費	674,000	648,000	26,000
支払負担金	10,000	10,000	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0
租税公課	0	0	0
研修費	100,000	100,000	0
修繕費	0	0	0
雑費	37,000	37,000	0
減価償却費	25,000	26,000	△ 1,000
経常費用計	6,423,000	6,289,000	134,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 300,000	△ 326,000	26,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 300,000	△ 326,000	26,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外収益計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 300,000	△ 326,000	26,000
一般正味財産期首残高	583,521	909,521	△ 326,000
一般正味財産期末残高	283,521	583,521	△ 300,000
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
一般正味財産への振替額	△ 1,000	△ 1,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,283,521	10,583,521	△ 300,000

令和8年度 資金調達及び設備投資の見込み

2026年4月1日から2027年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

当期間中における借入れの予定はない。

2 設備投資の見込みについて

当期間中における設備投資の予定はない。

予算書(正味財産増減計算ベース)内訳書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流促進事業	外国人学生支援事業	在住外国人支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	1,000		1,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0		0
受取会費	0	0	0	300,000	300,000	180,000		480,000
事業収益	30,000	10,000	0	0	40,000	0		40,000
受取補助金等	603,000	191,000	517,000	1,489,000	2,800,000	2,800,000		5,600,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0		0
雑収益	0	0	0	0	0	2,000		2,000
その他の収入	0	0	0	0	0	0		0
経常収益計	633,000	201,000	517,000	1,789,000	3,140,000	2,983,000		6,123,000
(2) 経常費用								
事業費	763,000	242,000	654,000	1,884,000	3,543,000	0		3,543,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0		0
賃金	0	0	0	1,213,000	1,213,000	0		1,213,000
福利厚生費	0	0	0	198,000	198,000	0		198,000
会議費	0	0	0	0	0	0		0
旅費交通費	107,000	32,000	6,000	0	145,000	0		145,000
通信運搬費	73,000	12,000	6,000	150,000	241,000	0		241,000
消耗品費	295,000	80,000	10,000	85,000	470,000	0		470,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0		0
印刷製本費	10,000	0	100,000	15,000	125,000	0		125,000
会場使用料	56,000	18,000	0	0	74,000	0		74,000
交際費	30,000	0	0	0	30,000	0		30,000
賃借料	10,000	30,000	0	181,000	221,000	0		221,000
保険料	17,000	8,000	0	0	25,000	0		25,000
諸謝金	100,000	60,000	30,000	15,000	205,000	0		205,000
支払負担金	4,000	0	0	0	4,000	0		4,000
助成金	50,000	0	0	0	50,000	0		50,000
委託費	0	0	480,000	0	480,000	0		480,000
研修費	0	0	20,000	0	20,000	0		20,000
修繕費	0	0	0	0	0	0		0
雑費	11,000	2,000	2,000	0	17,000	0		17,000
減価償却費	0	0	0	25,000	25,000	0		25,000
管理費	0	0	0	0	0	2,880,000		2,880,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0		0
賃金	0	0	0	0	0	1,213,000		1,213,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	208,000		208,000
会議費	0	0	0	0	0	15,000		15,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	220,000		220,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	90,000		90,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	30,000		30,000
消耗品費	0	0	0	0	0	30,000		30,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	10,000		10,000
会場使用料	0	0	0	0	0	15,000		15,000
交際費	0	0	0	0	0	20,000		20,000
賃借料	0	0	0	0	0	183,000		183,000
支払負担金	0	0	0	0	0	10,000		10,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0		0
支払利息	0	0	0	0	0	0		0
委託費	0	0	0	0	0	674,000		674,000
研修費	0	0	0	0	0	100,000		100,000
租税公課	0	0	0	0	0	0		0
修繕費	0	0	0	0	0	0		0
雑費	0	0	0	0	0	37,000		37,000
減価償却費	0	0	0	0	0	25,000		25,000
経常費用計	763,000	242,000	654,000	1,884,000	3,543,000	2,880,000		6,423,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流促進事業	外国人学生支援事業	在住外国人支援事業	共通	小計			
評価損益等調整当期経常増減額	△ 130,000	△ 41,000	△ 137,000	△ 95,000	△ 403,000	103,000		△ 300,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 130,000	△ 41,000	△ 137,000	△ 95,000	△ 403,000	103,000		△ 300,000
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								0
(2) 経常外費用								0
経常外費用計								0
当期経常外増減額								0
当期一般正味財産増減額								0
一般正味財産期首残高								583,521
一般正味財産期末残高								283,521
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								1,000
基本財産受取利息								
一般正味財産への振替額								
一般正味財産への振替額								△ 1,000
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								10,000,000
指定正味財産期末残高								10,000,000
III 正味財産期末残高								10,283,521